

**広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム/ HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program**  
**協定大学実施ショートプログラム参加報告書/Short Program Report**

留学先大学 / Host University	LINKOPING UNIVERSITY (国名/Country : Sweden )
プログラム名称 / Name of Program	Liu Summer Academy
プログラム期間 / Period of Program	From: 2019年06月28日 To: 2019年07月27日

**1. 渡航について / Flight Information**

出国年月日 / Date of Departure	2019年06月26日 (YYYY/MM/DD)
経路 / Route	広島ー関西空港ーストックホルムーリンシューピン
現地での出迎え / Pick-up at Destination	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係@/University Staff・その他/Other) <input type="checkbox"/> 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2019年07月25日 (YYYY/MM/DD)
経路 / Route	リンシューピンーストックホルムー東京ー広島

**2. 所要経費について / Expenses**

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount		350,000	円 / yen	
	内訳 / Details	渡航費 (往復) / Flight Ticket (Round Trip)		173,520	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance		12,868	円 / yen
		宿泊費 (住居費) / Accommodation Fee		80,000	円 / yen
		食費 / Meal Cost		47,324	円 / yen
		その他費用( ビザ ) / Others ( visa )		8,000	円 / yen
		その他費用( 雑費 ) / Others ( miscellaneous )		28,288	円 / yen

**3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program**

**コースについて**

「Innovation and Entrepreneurship in a Swedish Context」というコースを選びました。マーケティング関連のコースです。私はマネジメント専攻でそれにマーケティング分野に属しているから、前に学んだことがある内容は多くあると思うけど、授業の進み方とか全然違っていろいろ勉強になりました。また、テキストがあるけれど、本にこだわらず、ゲームを含めて様々な形で知識やスキルを教えてくださいました。そして、先生達の個人魅力も重要な原因となると思うけど、大事な内容を簡単に伝えてくれる点は共通で、素晴らしい授業だと評価できます。ただし、宿題は本当に多いと思います。個人アサインメントもグループワークも多く、大変に感じた瞬間が多くあります。簡単なコースと思わないで下さい。クラスメートは様々な分野の勉強者から集まりました。大学生が多く、専攻や個性、出身、文化などの違いは互いに勉強できるチャンスとなります。

**学生生活**

授業は平日の昼間に集中し、週末は自由で、その時間をうまく利用して他の国や地域に旅行する人はほとんどであり、メリハリのある生活が送れます。第1週は、学生アシスタント達によるアレンジした課外活動が毎晩あり、行くか行かないかは自分次第であるけど、このように友達に出会うまた英語を實踐できる交流の場が提供してくれます。7月の暑い日本と比べ、スウェーデンにはちょうど気持ちいい気候があります。夜または雨の日は寒くなるけれど、大した心遣いは要りません。寮については、部屋は一人で、台所やリビングルームをシェアしています。個人的に大満足です。通学はバスで、30分以上かかるから便利だと思わないけれど、一ヶ月分の交通カードは寮の費用に含まれて問題はありません。

**結果**

早めにプログラムを終わったけれど、全部のアサインメントをパスして、最終テストもベストの点数を得ました。マーケティングの知識やクリエイティブに考えるスキルのみならず、異文化の方々とのグループワークの仕方、スウェーデンの文化などを身を以て勉強できました。

**その他**

私は、M2のところでのこのプログラムに参加するのは実は自分でもずっとプレッシャーを大きく持っています。上記の渡航費について、中間発表で早く広大に戻るため、それに向こうの最終テストの時間も考慮して、9万円を多くかかって帰りの便を別に買わなければならない結果となりました。普通に往復できれば10万円でフライトのチケットを購入できます。それに、向こうは授業が多く、宿題も結構時間がかかり、加えて私には修論のストレスも大きいので、十分にこのプログラムの良さを満喫することはできていないと残念に思いました。もしM2で短期留学を参加したい方がいらっしゃいましたら十分にいろいろを考慮した上で決めなさい。それにしても、留学することは、本当に良い経験となるのは間違いありません。一生の友達もできるかもしれませんよ。